

トヨコ通信

2014年8月号

ホームページ...http://www.sasada-toyoko.jp/
E-メール.....sanbai@sasada-toyoko.jp

発行 : 日本共産党大垣市後援会
発行日 : 2014年8月1日 第147号
連絡先 : 大垣市室本町5-8
Tel 78-6865 Fax 73-8572

部内資料

<笹田区域>
興文中・西中・西部中
(宇留生小を除く)
上石津全域



安倍政権打倒の国民的大運動へ 西濃地域の一斉地方選挙候補者が街頭演説で訴え

党創立記念講演で 志位委員長が呼びかけ

7月15日に創立92周年を迎えた日本共産党。記念講演に立った志位委員長は、安倍政権の1年半を四つの角度から検証しました。

若者の命を危険にさらし日本の国際的信頼を投げ捨て海外の戦争に乗り出す「集団的自衛権」行使容認、消費税増税を強行し、日本の経済の根幹を支える中小企業を犠牲ににして大企業減税をはかる「逆立ち経済」、歴史的な福井地裁判決に耳を貸さず、電力会社・原発製造企業のために原発再稼働や輸出に向けた環境づくりに突き進む無責任な姿勢、「銃剣とブルドーザー」で住民を追い出す基地建設を再来させようとする沖縄・辺野古の調査強行と基

地建設工事着工と、四つのどの分野でも文字どおりの「亡国の政治」だと断罪しました。

そうして、「このような内閣は、1日続けば、その分だけ日本と国民に災いをもたらすことになる」として、安倍政権打倒の国民的大運動を呼びかけました。

地方選予定候補者 大垣駅北で街頭宣伝



7月21日には、共産党と後援会による「今こそ輝け!日本共産党の躍進をめざすつどい」が開催され、落語による憲法講演と来年4月の一斉地方選挙立候補予定候補者が紹介されました。

候補者たちはその後、すぐに街頭宣伝に臨みました。

大垣駅北のショッピングモール前での宣伝では、森桜共産党西濃地区委員長が「安倍政権打倒の国民的大運動」を呼びかけた志位委員長の記念講演を紹介し、市民に共同を訴えました。続いて立った笹田大垣市議は、議会改革や市議のグリーン車利用問題と裁判の経過を報告し、市議会での共産党議席の倍増を訴えました。また、予定候補者の中田としや氏も若者を戦争に駆り出す集団的自衛権行使を押しとどめ、雇用の安定に向けて力を尽くす決意を述べました。

初当選以来、市政や議会の様子を笹田トヨ子の視点でお知らせすることが大切と「トヨコ通信」を発行してきました。あれ

から12年、今月で147号になります。皆さんからは「市政がよくわかるようになった」と励まされ、更に頑張る力が湧い

「KOBAN」 がみえない!

大垣駅前にある交番は建物に「KOBAN」と大きな字で書かれています。大垣市を訪れて交番の場所がわからないと尋ねられる方も多いため、樹木に隠れて「KOBAN」の文字が見えないためです。そこで「KOBAN」が見えないとたびたび都市施設課に樹木の剪定をお願いしています。



大垣駅前は樹木が多く、「緑のまち大垣」を象徴するようで私は好きですが、困ったことに、樹木が繁ると鳥のねぐらとなって歩道が鳥の糞で真っ白になり掃除が大変、「緑のまち」を維持するのでも大変です。

てきます。もし「通信」読者の方で「さんにも勧めたい」とか「近くのさんにも配っていいよ」と紹介してくださる

落語で憲法 自民党改憲案を落す

「3連休の最終日にこんな200人も集まるとは、大垣とはよほど遊ぶ場所がないのでしょうか」と端からお客いじりで笑いを誘い、推古天皇から公務員ランナーの川内選手まで引き合いに出し、まさに軽妙洒落な話しぶり。

「日本国憲法の核心は、国民一人一人がその人らしく幸福を追求できるようにすること」「他者の人権を抑圧して得られる幸せは偽者」と語り、自民党改憲案をぴしゃりと批判。

お勉強講演会もよいが笑いあいの企画は文化的で素敵だと改めて思いました。(中田としや)



高座の八法亭みやっここと
弁護士飯田美弥子さん

方がいらっしゃいましたら、連絡をお願いします。

: 78 - 6865

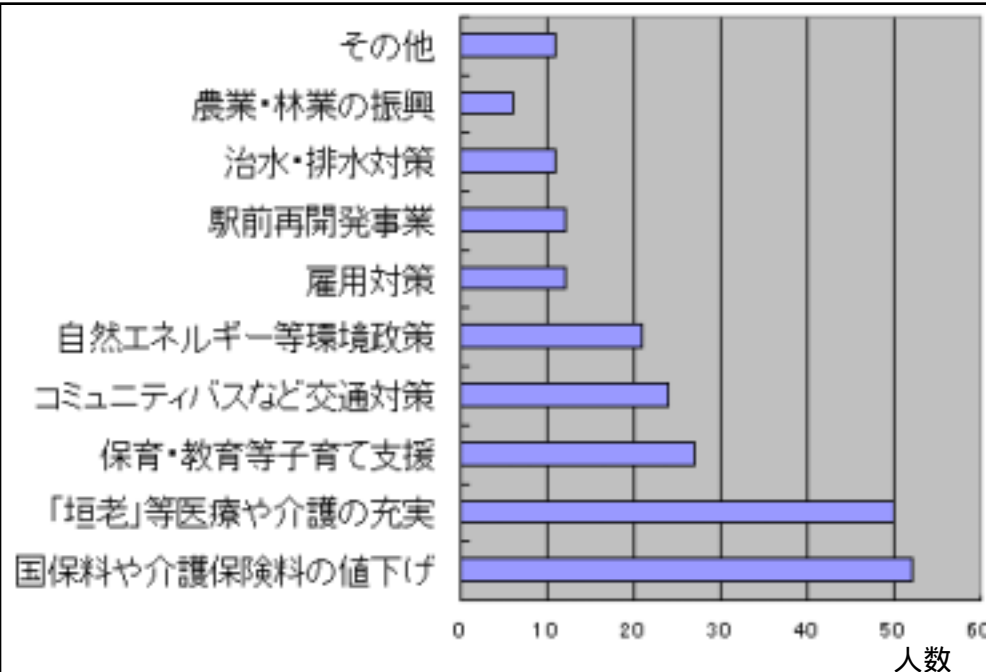
「トヨコ通信」読者を
紹介してください

市民の願いは 「垣老」等の医療・介護の充実、国保料等の引き下げ、新庁舎建設反対7割に、税金の使い方に厳しい目

「民主おおがき」のアンケートに85の方が答えてくださいました。途中経過ですが、市政アンケートの結果をお知らせします。市政で特に取り組んで欲しい事業は？

最も多いのが「垣老など医療や介護の充実」と「国保料や介護保険料の値下げ」でした。声には「長年市民税を払ってきて『垣老』は良い制度だとはじめて感じている」と。また「若者が生活できるだけの収入を得ら

れる仕事を」等がありました。グリーン車の利用は必要なし「庶民は格安チケットを求めて少しでも安くなるように努力しているのに、議員特権は廃止して」「指定席にも乗れないのに税金を払っている人々の身になってください」「市民の税金であるグリーン車はやめてもらいたい」等、議員の視察にグリーン車を利用することに対する市民の厳しい意見が寄せられています。



グラフ：アンケートはがき集計より、市政で特に取り組んで欲しい事業

新庁舎建設には7割が反対「100億円は足りない。他の事業に使って欲しい」「人口減のなか必要最小限の規模に」「現庁舎を工夫したら十分使える」「早急な問題ではない。他に考えることがある」「耐震化で十分」「福祉や教育にお金を使うべき」等様々な意見が寄せられています。

グリーン料金返還裁判、進展

大垣市違法公金支出返還請求事件(グリーン料金返還裁判)では7月10日今後の裁判進行為の、原告・被告・裁判所の3者協議ひらかれ、裁判終結にむけて大きく進展しました。

次回法廷は9月22日岐阜地方裁判所の大法廷(傍聴席80人)午前10時30分から野田のりお議員主尋問原告宇津時男さんの最終陳実となりました。

裁判長は「現状の条例のもとでも、乗らない人にグリーン車料金を支給しない運用をできるのではないかと検討するよう強く勧告する」と被告(大垣市)へ勧告しました。

弁護団、原告みなさん署名集めの奮闘の成果と思います。皆さんのグリーン車署名の後一回り拡大と、9月22日の裁判傍聴をお願いします。

臨時議会報告

請負契約の締結について

宇留生小学校屋内運動場改築工事等2件の入札が労務単価や資材価格が高騰し設定価格が低いとの理由で不調となり、6月議会で1億円の補正予算が追加され再度入札が行われました。

7月、臨時議会にて請負契約の

締結について審議され、岐建(株)が決まりました。契約金額は4億7412万円。入札方法は事後審査型条件付き一般競争入札で参加業者は岐建(株)、TSUCHIYA(株)、高岩組、宇佐美組で、落札率は99.79%でした。

国民の立場で真実を伝え続ける赤旗新聞をお読みください。
日刊紙...3497円 日曜版...823

荒崎裁判を終えて

安保 千春

荒崎水害は、2014年7月初め、敗訴が確定しました。最高裁が上告を棄却し、10年をこす長い運動・戦いが終わりました。原告団ならびに支援者の皆さん、そして弁護団の先生方に心からのお礼を申し上げます。

荒崎水害は「洗い堰」という造られた堰から流れ出る水害で、自然災害ではありません。繰り返し繰り返しの水害です。各裁判官は、住民の立場に立ちきれず住民の苦しみ・怒りを認めず、裁判とはこんなものかと残念で大きな怒りを感じています。「大東水害判決」の大きな壁を打ち破ることはできませんでしたが、10年に及ぶ長い戦いでたくさんの成果を上げることができました。

一つは、大谷川の改修工事が

この10年間で大きく前進したことです。完成提10.88mにあとわずかとなりました。そして10年以内の「洗い堰」の締め切りを大垣市長が発表しました。荒崎住民の悲願がかなうことになったのです。

いまひとつは、固定資産税評価審査申し出の運動で109件が申し出をし80万円の減額を勝ち取れたことです。大垣市は補足意見で「その心情を察するに余りあることを痛感いたしております」と述べています。また荒崎地区が水害多発地域であると明文化されるようになりました。

負けはしましたが、この裁判を通じて戦いの中でしか住民の権利が守れないことが明らかとなりました。